

兵高教組

確定速報No.1

2017年10月27日 調査情報16号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745

FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

2017年度賃金確定交渉スタート 10/24(火) 第1回確定交渉

地域手当も含め、県「行革」による賃金削減は即時中止せよ!



10月24日(火)、県教委との第1回確定交渉が行われ、高教組・高従組・兵庫教組合同の交渉団が臨みました。冒頭、3教組委員長から要求書が渡瀬教育次長に手渡されました。渡瀬次長は「本日の段階では、まだ具体的な回答を申し上げることはできません」とし、県人勧の内容、国の動向、県の財政状況などについての説明に終了しました。次の交渉は11月9日(木)に行われます。

確定交渉への高教組の基本姿勢

統一要求書(兵庫教組と合同の要求書)、高教組独自要求書、従組要求書を提出し、今季確定交渉が始まりました。高教組は、数ある要求の中から、次の点を最重点に取り組みをすすめていきます。

- ① 人勧の完全実施(月例給、一時金、地域手当の引き上げ)
- ② 地域手当1.5%カットを含む全ての県「行革」カットの撤廃
- ③ 現給保障の維持
- ④ 実効ある超勤縮減措置の実現

交渉団からの発言(要旨)

県「行革」カットは廃止せよ

- 昨年の交渉の結果、若年層の給料表におけるカットはなくなった。しかし中堅層・高齢層には0.7%、0.9%のカットが残っている。さらに、地域手当については、1.5%カットが全員に対して残っている。これは、人事委員会も認めていることだ。
- 人事委員会は「速やかに解消を行うよう要請する」という表現で、地域手当を含め、すべての削減を廃止せよと要請している。県教委は、これにどう応えるのか。
- 2001年の12月昇給延伸から通算すると17年も不正常的な状態が続いている。今さら「震災の影響」ではない。明らかに失政のツケだ。それを我々に押し付けるな。

現給保障を維持せよ

- 総合的見直しは、給与の配分の見直しが趣旨であり、給与の削減と地域手当のアップがセットのはず。兵庫県の場合、給与は下げたが地域手当は上がり切っていない。国より大きい公民較差がそれを証明している。

- 今、自分には現給保障が13,000円ある。これがなくなると一方的な減給になってしまう。

超勤縮減の具体案を出せ

- 6月16日の文教常任委員会で教育長は「教職員の残業をなくすには、3,500人の増員が必要」と答弁し、人手不足の現状を認めた。超勤縮減のためには、教職員を増やすしかない。
- 超勤縮減の工夫は、もう十分やっている。残るのは、持ち時間を減らす=教職員を増やす、しかない。我々教職員が何時に出勤し、何時に退勤しているかきちんと把握して解決策を出せ。
- 学校がブラック化して、しかも給料表通りの給料がもらえない。これでは働く気にならない。私たちは何も高い要求をしているわけではない。人間らしく働きたい。そのために勤務時間を守れと言っているだけだ。

渡瀬次長からの再回答

- 県「行革」による地域手当の1.5%カットがあることは、認識している。
- 県単独の人員増には限界がある。全国的な課題。超勤縮減について、勤務時間の把握がベースであることは認識している。お互い知恵を出し合いたい。

10大要求署名にご協力を!

高教組では、現在「2017賃金確定に向けての10大要求署名」を集めています。あなたの署名が、賃上げや県「行革」カット廃止の実現、超勤縮減などにつながります。ぜひご協力をお願いします。

あなたも、ぜひ高教組へ!